

平成 26 年度まちびあ登録団体活動報告書

団体番号：758

1. 平成 26 年度の活動報告

[1]平成 26 年度の主な活動報告

(1) 学習（自習を含めて）の実施について

- ①原則として、第 1 木曜日（先生指導日）と第 3 木曜日（自習）の午前 9 時 30 分～11 時 30 分を定例の学習日とし、場所はすべて横川生涯学習センターで実技習得に努めました。
また、「まちびあ」（無料）で、ほぼ月 1 回、補習・自習を実施しました。
- ②小山先生の指導日の学習について、月に 1 回、第 1 木曜日に実施しました。
先生が持ちネタの中のいくつかを 2～3 ヶ月かけて叱咤激励されながらの指導にもかかわらず、自習時間での復習で数人が何とか習得できる状況です。
- ③自習の学習日について、役員の当番制で実施し、第 1 木曜日の午後の復習は 3 月まで、1 年 6 ヶ月実施してきましたが、4 月以降やめています。

(2) 高齢者の介護施設や幼児・学童施設へのボランティア活動およびイベント・催しなどへの参加について

会員のみなさまの参加、協力で笑顔で充実した 1 年間でした。

- ①次の高齢者の介護施設、デイサービスから定例的な依頼があり、担当役員が施設の担当者と相談しながら、対応しました。
 - 川田ふれあいデイサービスセンター「えがお」
 - ふくろうの杜
 - ツクイ戸祭デイサービス
 - 一条デイサービスみやスマイル
- ②次の幼児・学童施設から依頼があり、積極的に対応しました。
 - 宇都宮市立の東浦保育園と石井保育園
 - 高根沢町立 6 小学校 7 カ所の学童保育；夏休みの 7 月～8 月
 - 宇都宮市立横川地区の 3 小学校と五代小の学童保育；夏休みの 8 月下旬
 - 宮っ子ステーションで豊郷中央小学校
- ③「敬老会」や「クリスマス会」、「福祉まつり」、「文化祭」、「感謝祭」など定期的なイベントの依頼に対応しました。
- ④地域自治会などが、地域包括支援センターなどと連携して、在宅の高齢者が昼食を囲みながら懇談・交流できる場「サロン」「ミニデイ」などとして、公民館などで年に数回や毎月 1 回などの取り組みをすすめています。そういった機会に、日光市、那須塩原市や真岡市などから依頼され喜んでいただきました。

(3) クラブ会員同士の親睦・交流をはかるための催しの開催などについて

- ①学習日の昼食会……会員同士の親睦、交流で有意義でした。
- ②四半期（3ヶ月）ごとに1回ほどの催し・イベント、レクレーションを開催。
1月：新年会、6月：ボーリング大会、8月：＜暑気払い＞会、
12月：そば会
いつもですが、そば会でのそば打ちのみなさまにはたいへんお世話になり、またそばの栽培に努めておられる会員にも、深く感謝します。
- ③マジックの資材・道具などを共同して購入し、時々一緒に作成しました。
- ④「共楽マジッククラブ」のクラブ会員への連絡として「会員のみなさまへ」メモなどを適宜作成・配布し、学習日程やボランティアの予定などの情報を共有していただきました。
- ⑤クラブのこの間のこと、今後のこと、学習のこと、そしてボランティアのこと、などについて、会員の率直な考えをお聞きしたく「アンケート調査」を実施しました。役員会で相談しながら今後のクラブの運営に反映していきたいと思えます。ありがとうございました。

(4) 役員会の開催について

原則として、第1木曜日の学習日に定例で開催しました。学習の終了後など、役員間の情報交換・共有と意志疎通を図りました。

(5) その他

- ①先生から案内された「幸条スガヤ師のマジック講習会」（4月）に参加し、マジック技術の習得に努めました。
- ②宇都宮市社会福祉協議会を通じて、ボランティア保険に加入し、安心できるクラブ活動となりました。
- ③一人ひとりすべての方が1年に1歳ずつ年を重ねます。小山先生も、昨年8月で78歳になりました。会員も、平均しますと70歳以上かと思われまます。昨年は、新年早々から、何人もの方が、体調を崩して入院したり寝込んだりされています。クラブの活動・運営も、その辺の状況を十分に考慮して、無理をせずに笑顔で楽しみながらできるよう、課題だろうと思われまます。